

第39号

発行 南西糖業株式会社 編集 総務部
〒891-7621
鹿児島県大島郡天城町兼久高約2337
Tel 0997(85)3125 Fax 0997(85)3129



たいせつな人に
「ありがとう」

© 2019 農林水産省

広報

なんせい

新年のご挨拶



代表取締役社長
神崎 俊

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、健康やかな新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年の十二月二十日からさとうきびの搬入が始まりました。今期はなんとか十二月中に製糖開始することができました。関係各位のご支援とご協力にまずはお礼申しあげます。
思い返せば、昨年のこの時期は徳和瀬工場の重大トラブルによって、製糖計画が大幅に遅れておりました。今期はそのようなことがないよう、ま

た信頼を回復すべく会社の総力を挙げて整備等万全の準備で臨んでおります。農家の皆様はじめ関係者の方々にお願いいたします。何卒ご安心いただけますようお願い申し上げます。昨期多大なるご迷惑をおかけいたしましたことを改めて深くお詫び申し上げます。次第です。

令和二／三年期に18万トンを超えたさとうきびですが、令和三／四年期には17万トン強にまで減少し、昨期(令和五／六年期)は約16万トン強となつてしまいました。この間、収穫面積は3,400haから3,150haにまで減少し、単収も54.0トン/haから52.3トン/haに低下しております。

今期の製糖計画

圧搾見込量	16万トン	
製糖開始日	令和6年12月20日(金)	
年内搬入終了日	令和6年12月25日(水)	
年明け搬入開始日	令和7年1月9日(木)	
工場休止日	年末年始	令和6年12月28日(土)～令和7年1月5日(日)
	春植推進日(予定)	①令和7年2月12日(水)～2月19日(水) なお、操業状況により洗缶日を設定する場合があります
搬入終了予定日	令和7年3月29日(土)	

面積減少、単収低下による生産量減少は、さとうきびが原料である弊社に取りましてはまさに由々しき状況であります。さとうきび産業全体にとりましては、さとうきび産業の一員として一層尽力してまいりたいと思っております。多大なるご支援を伏してお願ひ申し上げます。

最後に、皆様の本年のご多幸を心よりお祈り申し上げます。最後にご挨拶いたします。

頑張るさととうきび農家のご紹介

今回は5年前に故郷の徳之島に戻り、さととうきび作りで励んでいる吉川貴也さんを紹介します。

吉川さんは、「徳之島さととうきび新ジャンプ会」の会員としても精力的に活動しています。

現在の営農規模

約10haのさととうきびを栽培し、ハーベスタを穫受託面積は約46haで、弟の吉川源太さんと協力



吉川貴也さん

吉川貴也さん(34歳)

経営規模等:さととうきび 10ha

従業員:1名

所有機械:トラクター4台,プランター1台

ハーベスター1台、ユニック付トラック等

製糖期について

し収穫作業に当たっています。おかげさまで多くの方から作業を依頼されるようになり、大型ハーベスタの導入も検討しています。他の作業機も大規模な作業に対応できるよう導入し受託作業の幅も広がりました。

円滑な自営農場管理や受託作業を行うために、12月中旬には製糖を始めてもらいたいです。2月から春植



HV助手を務める橋本さん夫妻

えを進め、製糖期後に適期の管理作業と受託作業をこなしていくには早期の製糖開始が欠かせないと思います。そのためにも各関係機関には、余裕を持った話し合いで、スムーズな製糖開始を実現してほしいと願っています。また、多くのハーベスタで助手を確保する事が難しくなっています。外国人雇用も視野に入れないで実践する事は難しいのが現状です。行政や関係機関が雇用を支援する仕組みを整えてくれる

助成事業等に関して

と非常に助かります。

植付への助成をもっと充実してほしいと思います。初期費用を軽減できる助成が安定していれば、農家は意欲的に新植に移行できると感じます。また、資材助成の上限設定が緩和されると規模拡大に取り組みやすくなると思います。

増産に向けて

目標の栽培面積は20haですが、平坦で一筆当たりの面積が大きい等、条件のよい畑ばかりで面積を拡大



HV収穫中の吉川源太さん



手入れされた夏植え(R7/1撮影)

する事ができないのが現状で、夏植の一回収穫も辞さない覚悟をもって、難しい畑にもチャレンジし増産を図っていきたくて考えています。昨年から自動操舵できるトラクターを導入し受託作業もより積極的に行っていきます。父の時代からお付き合いがある農家の皆さんとのコミュニケーションや一緒に働く仲間を大切にしつつ、より多くの地域の皆さんの力になれるよう兄弟で取り組んでいきます。応援よろしくお願ひします。

南西糖業 Q&A 工場は製糖期以外に何をしているの？

弊社は工場見学を通じて、社業やさとうきび産業に関する情報提供を行っております、その工場見学等でよく伺うご質問について、ご紹介します。

Q 工場は製糖期以外に何をしているの？

A 次の年の製糖期に備えるために、機械設備を分解して整備をしています。ボイラーや発電タービンなどの機械設備は法律で定められた定期検査を受ける必要があります、資格を持った社員が丁寧に整備を行っています。



機械の分解整備

Q 南西糖業って黒糖を作っているの？

A 弊社で作っている砂糖は「原料糖」(粗糖)とよばれます。この原料糖は、本土の精製糖工場にて、「上白糖」や「グラニュー糖」などに加工されて、消費者のもとに届けられます。

黒糖は、さとうきびを搾ったジュースを濃縮して固めたものですが、原料糖はジュースを濃縮後、大きくした砂糖の結晶と糖蜜を分離する工程を行います。黒糖との大きな違いは粒状(ザラメ状)になっていることです。



原料糖(粗糖)



黒糖

Q デトラッシャーは何をする設備なの？

A 徳之島のさとうきび収穫は約99%がハーベスタで収穫を行われていますが、収穫時に「トラッシュ」と呼ばれる枯葉(ハカマ)や青葉、土砂等と、空き缶等の金属類が混ざることがあります。このトラッシュ等を除去するための設備がデトラッシャーです。

枯葉や青葉には糖分が含まれていないため、効率的な操業を行うには取り除く必要があります。また、土砂や金属類は工場の機械を傷つける恐れがあるため、除去が欠かせません。



デトラッシャー設備

Q さとうきびには様々な品種があるけれど、それぞれどんな特徴があるの？

A さとうきびは、各地域の自然環境や栽培条件に適した品種を選び、適切に管理することで、本来の力が最大限に発揮されます。ここでは、徳之島で最も多く栽培されている3品種の特徴を簡潔にご紹介します。

品種名	特徴	徳之島の収穫面積割合
農林8号(NiF8)	早熟、高糖、多収で、黒穂病等の病害にも強い、バランスの良い品種	16%
農林23号(Ni23)	茎の伸長性が優れ収穫量が多く、干ばつの影響を受けにくい品種	38%
農林27号(Ni27)	低温では芽が出にくい、病気に強く、太径で糖分が高い品種	28%

「令和5年産さとうきび及び甘しゃ糖生産実績より」(鹿児島県農政部農産園芸課)

他にもさまざまな品種があり、栽培品種は自然環境や品種特性だけでなく、各農家の営農スタイルによって異なります。品種について詳しくは、弊社農務部までお問い合わせください。

新役員体制のご案内

弊社第59回定時株主総会並びに取締役会におきまして下記のとおり役員が選任され、それぞれ就任いたしました。

つきましては、今後とも社業発展のため一層精励いたす所存でございますので、何卒倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長	神崎俊
常務取締役徳之島事業本部長	網島弘
常務取締役企画経理部長	高垣建
取締役(農務部担当)	廣敬
取締役総務部長	浜口正
取締役(非常勤)	伊藤哲
取締役(非常勤)	小泊正
監査役(非常勤)	三浦直
監査役(非常勤)	森雅

なお、取締役村田貢は退任のうえ、顧問に就任いたしました。在任中、賜りましたご厚情に厚く御礼申し上げます。

新役員紹介



取締役
浜口 正仁

日頃より弊社業務にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

入社以来、主に本社や事業本部の総務部門で勤務して参りましたが、その間、農務部平土野原料事務所や旧平土野工場でも業務を行って参りました。

現在のさとうきび産業を取り巻く環境は、農家の皆様の高齢化や後継者不足に加え資材・燃料価格の高騰等により、産業全体にわたって担い手不足が顕在化する等、大変厳しい状況にあります。その一方で島内の総耕地面積の半分近い面積で栽培され、島内の六割以上の農家の皆様に生産頂いているこのさとうきび産業に携わることができ、大変光栄に感じています。

これまでの長い間、さとうきび産業を築いて来られた多くの先人の皆様にあらためて感謝申し上げますとともに、このさとうきび産業を持続可能な形に成熟させていくことが、大きな使命であることを痛感しています。

今後とも、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

工場からのお願い

島内におけるさとうきびの収穫は、約99%がハーベスタで収穫されています。

空き缶、鉄パイプや園芸パイプ、鎌などの金属類が畑の中にあると、ハーベスタの切断刃を傷

め、そのまま工場に持ち込まれると、工場の機械も傷めてしまいます。

場合によっては、工場を長時間停止することにもなり、農家の皆様にご迷惑をお掛けすることにもなりかねません。

工場を安全・安定操業させる為にも、金属類を畑に設置した場合などは収穫前に撤去するなど、金属類の混入防止にご協力をお願い申し上げます。



新卒者募集について

弊社では、今年度も大学・専門学校等の新卒者採用試験を次の通り予定しています。

【令和8年4月入社】

大学・専門学校等の

新卒者採用試験

令和7年6月予定

採用試験に関する最新情報につきましては、本年3月以降弊社ホームページをご確認くださいませようお願いします。

なお、高校生の新卒者募集は、本年9月以降にハローワークを通じてご案内させていただきます。

直近の入社実績(4月1日現在)

令和7年	6名(予定)
令和6年	3名
令和5年	5名
令和4年	3名
令和3年	3名
令和2年	3名